

卵巣癌における HER3 発現と化学療法抵抗性との 関連性を検討する後方視研究

版番号：version 2.1 作成年月日：2021 年 1 月 4 日

1. 研究の対象

東京慈恵会医科大学附属 4 病院（新橋、葛飾、柏、第三）、国立がん研究センター東病院、八戸赤十字病院、愛友会記念病院、松戸市立総合医療センター、自治医科大学さいたま医療センターで 2000 年 10 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日の間に卵巣癌に対する治療を受けた方で、再発腫瘍の摘出術を受けた方。

2. 研究目的・方法

治療が困難な再発卵巣癌に対する新しい治療法を検討するため、卵巣癌の再発前後における HER3（細胞の増殖に関わる細胞膜上のタンパク質）発現の変化を評価し、臨床的評価項目（組織型、再発率、予後など）との関連性を検討すること。

研究許可日～2022 年 3 月 31 日の実施を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術検体（病理検査後に保管されている卵巣等の余剰検体）

情報：診断名、年齢、検査結果（血液検査、画像検査）、治療経過（手術や化学療法の方法、再発までの期間、再発後の治療方法）など

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：第一三共株式会社 研究開発本部 バイオマーカー推進部 小山久美子
横浜市立大学 分子病理学教室 主任教授 藤井誠志

提供方法：個人情報を匿名化してから提供します。匿名化の対応表は、当センターの
個人情報管理担当者（婦人科 横須幸太）が保管・管理します。

5. 研究組織

国立がん研究センター東病院	乳腺腫瘍内科科長	向原徹
第一三共株式会社	研究開発本部	小山久美子
東京慈恵会医科大学	産婦人科学講座主任教授	岡本愛光
横浜市立大学	分子病理学教室主任教授	藤井誠志
[研究協力機関]		
八戸赤十字病院	病理診断科室長	笹生俊一
愛友会記念病院	産婦人科	平川宏
松戸市立総合医療センター	産婦人科部長	海野洋一
自治医科大学さいたま医療センター	産婦人科医師	伊東孝晃

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

- ・ 国立がん研究センター東病院 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
04-7133-1111 内線：5562 婦人科：横須幸太
- ・ 東京慈恵会医科大学附属病院 東京都港区西新橋 3-19-18
03-5400-1272（個人情報保護相談窓口直通） 産婦人科：岡本愛光
- ・ 葛飾医療センター 東京都葛飾区青戸 6-41-2
03-3603-2111 内線：5910 産婦人科：斎藤元章
- ・ 附属第三病院 東京都狛江市和泉本町 4-11-1
03-3480-1151 内線：3710 産婦人科：山田恭輔
- ・ 附属柏病院 千葉県柏市柏下 163-1
04-7164-1111 内線：2183 産婦人科：高野浩邦

研究責任者・研究代表者：国立がん研究センター東病院 乳腺腫瘍内科 科長 向原徹

横浜市立大学大学医学研究科・医学部 分子病理学 主任教授 藤井誠志
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9
電話番号 045-787-2587